



平成31年 日野町

成人式

①懐かしの恩師にインタビュー ③新成人が司会進行を務めました ④日野ウインドアンサンブルが素敵な音色を奏でました ⑤新たな門出への誓いの言葉 ⑥お世話になった方々へのお礼の言葉 ⑦日野中学校音楽部・日野混声合唱団が、新成人が中学3年生の時に合唱コンクールで歌った曲をメドレーで披露

⑥	③	
	④	①
		②
	⑤	
⑦		

1月13日(日)、わたむぎホール虹で日野町成人式が開催され、176名が参加しました。そのうち新成人を代表する15名が実行委員として、この日の式典の企画や準備等を行いました。

式典では、実行委員の小林さんの開会宣言に始まり、小、中学校時代の先生へのインタビューなどが行われました。懐かしい恩師との思い出話に、会場は笑顔で溢れました。また、新成人代表として奥村さんと谷さんが、お世話になった方々へ感謝の気持ちを込めてお礼の言葉を、相坂さんと長さんが、新たな門出に向けて誓いの言葉を皆さんに届けられました。

式典終了後の会場周辺では、友人や恩師との再会を喜ぶ光景や、晴れの日の姿を家族や友人と写真におさめる姿が見られました。

「20年前のおもな出来事」

- ◆明石海峡大橋開通
- ◆第16回サッカーW杯仏大会 日本が初出場
- ◆全国高校野球夏の大会決勝で横浜高校の松坂大輔選手がノーヒットノーラン達成
- ◆ヒット曲：G・L・A・Y「誘惑」、S・M・A・P「夜空ノムコウ」など
- ◆映画「タイタニック」が大ヒット
- ◆流行語大賞：「ハマの大魔神」「だっちゅーの」

まちのたから発見 特別編

ハタチの思い



ここでは、実行委員の皆さんの成人を迎えての「思い」をご紹介します。

写真右上から

●谷 健一さん

今まで支えてくださった地域の方々、家族、友人に恩返しできる大人になりたいと思います。

●奥村 駿さん

成人を迎えて1番に思うことは、今まで育ててもらった両親や、お世話になった方々、友だちに感謝していることです。今まで色々な方に支えられて、成人を迎えることができたとこのことを当たり前のことだと思わず、これからは社会人として、自覚と責任を持ち、少しでも恩返しできたらと思います。

●神谷 拓摩さん

来年から社会に出るので、自分の行動に対して、より責任を持ち、少しでも社会に貢献したいです。お父さん、お母さんには野球などたくさん迷惑をかけたり、周囲の世話をしてもらったりしていたので、できることは少しずつ自分でやっています。

●具志堅 誉さん

ここまで育ててくださった親に対して、感謝の気持ちでいっぱいですが、これからまだ夢や目標は無いですが、これからは成人になったので、自信を持って何事にも挑戦していきたいです。

●長 魁渡さん

成人を迎え今年ばかりは就職ということもあり、これから色々なことに挑戦していきたいです。ぼくは美容師になるので、まず、最初の1年でアシスタントの中で1番の売り上げ

を出し、早くスタイリストになりたいです。そしてスタイリストになったら、今まで本当にお世話になった両親を最初にカットしてあげたいです。今まで育ててくださった分たくさん恩返ししたいです。成人としてこれからの人生一杯がんばります。

●板倉 克真さん

成人の日が無事に迎えられたことの喜びを感じ、ここまで育ててくれた両親、また自分に関わってくれた人たちに感謝したい。そして、これからは自分が何倍もの恩を返していきたい。

●正木 琢登さん

成人を迎えて、今までぼくを育ててくれた両親、祖父母のことが第一に頭に浮かびます。これまで育ててくれた恩を忘れず、これからもあらゆることに挑戦し、成長して、この日野町に貢献したいです。

●西村 伸大さん

まず、はじめに、今年の成人式に携わることができてとても光栄に思います。自分達の「成人」という大切な節目の式を成功させたい、楽しみたいと強く思っています。また、成人式を行う機会を与えてくださり、支えてくださった皆さんにとっても感謝しています。

●小林 空見さん

今まで女手一つで育ててくれた母に、本当に感謝しています。美容師の母に毛を結ってもらって成人式に出られること、本当に嬉しいです。自慢の母です。

●相坂 穂さん

今まで支えてもらった人たちに恩返しができるような素敵な大人になりたい。

●尾崎 世奈さん

夢に向かって新しい事にいっぱい挑戦したいです!!!

●治武 英里奈さん

20年間お世話になった両親や地域の方々に、これからはお返しができるようにしていきたいです。

●大橋 充さん

「いつか生まれ育った大好きな地元で貢献したい」これが、私はずっと思い描いている目標です。今はまだ自分の夢すらも叶えられていませんが、私がつと大きく変わった時、この目標を達成できればいいなと思っています。大学を機に地元を離れたことで、地元の素晴らしさや、家族への感謝

と尊敬の気持ちがより大きくなりました。成人式を通して、家族や支えてくださった皆さまに感謝を伝えられたらと思っています。

●池内 友美さん

これから成人として、自覚を持って行動し、将来の夢である薬剤師になりたいと思います。

●竹村 朱未さん

二十歳を迎え新成人となりますが、人生の節目を迎えたことへの実感がなく、これといって感じることはありません。ある一つの想いを除いて。それは家族、友人に対しての感謝の気持ちです。私は高校を卒業し、就職という道を選びました。両親から就職を勧められたことがきっかけではありますが、この選択をしたことに後悔はしていません。それは、これまで一番長く、一番近くから支えてもらったことに対する感謝の想いが強かったからです。社会人二年目でまだまだ未熟ではありますが、これからも日々感謝の気持ちを忘れずに過ごしたいです。



ひのらこだより

日野町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

必佐小学校

324名の全校児童が元気いっぱい生き生きと生活しています。本校では、一人ひとりの力を発揮させる授業と学習習慣の確立、優しさあふれる心の教育の充実、健康・体力の向上と粘り強い態度の育成をめざし日々の教育活動に取り組んでいます。今回は、子ども達の健やかな成長を育むPTAや地域との「連携・協働」についてご紹介します。

見守りあいさつ運動

毎週2～3日、必佐地域の17団体の皆様により、見守りあいさつ運動を展開していただいています。

あいさつや声かけの活動を通じて子ども達のあいさつの声も明るくはっきりしてきて、地域の方の応援を身近に感じています。



地域の皆様の見守り

PTA見守り清掃

昨年12月4日、PTAの呼びかけのもと県下一斉清掃と全校大掃除と連携して“PTA見守り清掃”を行いました。

事前にアンケートをとり、トイレ、洗面所、体育館などを地域の皆さん、保護者の皆さん、そして子ども達と先生が一緒になって大掃除をしました。

子ども達も地域や保護者の皆さんと共に取り組む楽しさからいつも以上に張り切って掃除に取り組みました。



一緒に大掃除

ふるさと日野学習

ふるさと日野を愛し、ふるさとを支える子どもの育成を願い、ふるさと絆事業の取り組みを進めています。

3年生は「日野菜」、4年生は「芋競べ祭り」、5年生は「米づくり」、6年生は「ほいのぼり」と、その分野に詳しい必佐地域の方々を講師に招いて学んでいます。

子ども達は様々な体験をし地域の皆様の熱い思いに触れ、とても興味深く取り組んでいます。



地域の方を講師に

南比都佐小学校

全校児童72名と少人数の小学校ですが、小規模であることの良さを活かして、特色ある教育活動を行っています。今回は、南比都佐小学校の特色ある教育の柱である「日野菜栽培」についてご紹介します。

【種取り】5月末



【種まき】9月末



【植え替え】11月



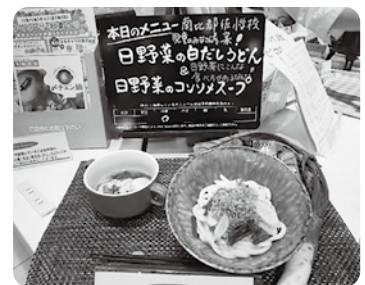
【収穫】11～12月



【調理】11～12月



南比都佐地域では日野菜の原種の保存に取り組み、伝統文化として根付いています。本校でも、その文化を受け継ぐため、全校で日野菜の栽培に取り組んでいます。その学習では「日野菜原種保存会」に種のまき方・植え替え・種取りについて教えていただきます。昨年は、種が大量に収穫できたので、地域のイベントに無償で提供しました。さらに11月には、昨年度児童が考案した「日野菜を使った料理レシピ」をフレンドマート日野店で紹介していただき、多くの方に本校の取組を知っていただく良い機会にもなりました。



フレンドマート クッキングサポートより

◆問い合わせ先 教育委員会事務局 学校教育課 ☎0748-52-6564